

Red Cross Kyoto

赤十字 きょうと 2022 7月号



赤十字奉仕団によるアクリルたわし等の寄贈

救うを託されている。

人間を救うのは、人間だ。



日本赤十字社 京都府支部
Japanese Red Cross Society

interview 5

赤十字奉仕団京都府支部委員会委員長

澤田 清一 さん

毎年5月は赤十字運動月間です。今年も多くの皆様にご支援ご協力をいただきました。誠にありがとうございます。近年、地域のつながりが薄れていく中で、地域において活動資金の募集活動等に先頭に立って頑張っていただいている赤十字奉仕団の皆さん。その中心となって、長年にわたって赤十字奉仕団のリーダーとして赤十字活動を支えていただいている澤田委員長にお話を伺いました。



■日赤との関わり

澤田委員長には、長年にわたって京都府支部にご支援、ご指導をいただき誠にありがとうございます。
そもそも澤田委員長と日本赤十字社との最初の関わりは。

―平成2年に初めて地域のことを担当することになりました。
実は、それまでは全く自治会のことに関わりがありませんでしたが、縁あって、京都市山科区の音羽川の自治会の会計を任されました。

その時に、日赤の活動資金集めを自分が担当したわけですが、今から考えると、これが日赤との最初の関わりです。当時の日赤のイメージは、京都第一赤十字病院や京都第二赤十字病院などの病院があるというくらいで、支部など組織のことも何も知りませんでした。

自治会の会計で協力していただいたのがスタートだったのですね。

―そのあと平成5年に自治会長を任せられ、日赤奉仕団の音羽川分団長に、平成15年には自治会連合会長を任せられ、山科区地区の奉仕団委員長に。頼まれたら断れない性分なので。

就任当時は50代でしたが、京都府支部委員会に出席すると、周りの方は高齢で、ただ一人飛びぬけて若かった。

確かに地区奉仕団委員長をされる方は、役職を重ねておられるのでどうしても年齢が高くなりますね。

―若かったこともあり、皆さん親切に教えていただき本当にありがたかったです。

支部委員会で高齢の役員さんの改選が

問題になり、若い人の意見をということで発言を求められました。「日本赤十字に対する熱意があれば、年齢は関係ない。」と発言しましたが、のちに、若いにもかかわらず、京都府支部委員長の大役を任される羽目になりました。

そうでしたか。

―実は、小学校に入学する前に第一日赤で手術してもらったようです。
はつきりとは覚えていないのですが、すぐ近くに親戚の家があって、ご飯を作って運んでもらっていた記憶があります。

―ということは、それが日赤との関わり最初ですか。

―そうですね。今から思うと。

■地域での活動

―委員長になって東京へ行くことになり、他府県の委員長さんとも話をするようになって、あらためて京都はすごいところだと感じました。

明治維新の時から京都の人は疎水をはいたり、電車を通したりと、色々なことをしているでしょ。京都にずっといて、京都しか知らなかったらこんなものかなと思うけど。

それと同じで京都の組織のすごさが初めて分かりました。

どのようなところですか。

他府県の方々が
「京都ってすごいね」と。



「支部と行政と奉仕団の関係について初めて他府県の人と話をしたときに、『え、なんで?』と思うことがたくさんありました。」

京都の場合は支部があつて、区役所があつて、地区奉仕団(自治会)との協力体制が出来ている。

支部と行政と奉仕団の関係がうまくいっているかどうかが大切で、他から見たら京都はともうらやましいのでしょう。

他府県の方々が「京都ってすごいね」と全国的に見て、奉仕団のあり方は、京都が異端児なのかもしれません。各地区の奉仕団委員長さんは区役所と密接につながっており、奉仕団と区役所は良いパートナーになっているわけです。

確かに京都は組織的に協力して頂いていますね。

「今は集金額が下がってきています。お金集めにはコツがあつて、山科地区は活動資金が多かつたので、他の地区から頼まれて講演をしたことがあります。」

なぜ活動資金が多く集まるのか尋ねられた時に、「トップに立つ者がどれだけ頭を下げるかです。」と答えました。一人ひとりに声をかけると、資金は集まるのです。

新型コロナ対策でより多くの資金が必要になると呼びかけると、皆さん協力してください。京都は比較的安全な土地なので、災害に対する関心が薄い。だから工夫がいると思います。」

地域赤十字奉仕団は

市区町村を基盤にして、日常生活の中で地域に根ざしたお互いの助け合い活動を展開しています。
社資(活動資金)募集活動や赤十字思想の普及推進活動に取り組むほか、献血の推進、炊き出しや病院への訪問、義援金の募集など様々なボランティア活動を実施しています。

京都府内に結成されている地域赤十字奉仕団は、右記のとおりです。

赤十字奉仕団京都府支部委員会は、発足当時に京都市以外の地域に奉仕団がなかったことから、現在京都市域の奉仕団で構成されています。

北 区 地区赤十字奉仕団
上京区地区赤十字奉仕団
左京区地区赤十字奉仕団
中京区地区赤十字奉仕団
東山区地区赤十字奉仕団
山科区地区赤十字奉仕団
下京区地区赤十字奉仕団
南 区 地区赤十字奉仕団
右京区地区赤十字奉仕団
西京区地区赤十字奉仕団
伏見区地区赤十字奉仕団

綾部市地区赤十字奉仕団
舞鶴市地区赤十字奉仕団
城陽市地区赤十字奉仕団

例えば、小中学校で献血の話をする機会を作ったりして、日赤の話は小さいころからしていかないといけないのかなと思います。

日赤の活動資金集めが最初の関わりということですが、任されたときに、どうして自分が日赤の資金集めをしなればならないのかとは思わなかったのですか？

―特にどうしてというような思いはありませんでした。

どのような組織も、運営するために必要なのは人と資金です。

人は教育すれば育てられますが、資金は集めなければ作れないもの。これは私の持論です。

日赤も活動するためには資金が必要なのは当たり前です。

京都のように地域のつながりが維持できたら資金は集まります。

基本になるのは何かというと、地域全体のまとまり。それが他府県と比べて京都はすごい。結論はそういう事だと思っています。

人を育てるためには、小学生、中学生から始まって、新しく入ってきた住民の皆様にも日赤のことを伝えていく

ことが大事ですし、資金集めはいかに頭を下げるか、工夫するかという事が大切だと思います。

最後に各地区の奉仕団の皆さんにメッセージをお願いします。

―新型コロナ禍の中で、各地区奉仕団の皆さんには大変ご苦労をおかけしておりますことを申し訳なく思っております。

そのような中で、活動資金集めに協力賜り心から感謝を申し上げます。

引き続き皆さんとともに頑張つてまいりたいと思いますので、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

本日はお忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。

澤田委員長、
お話を聞かせていただき
ありがとうございました！



「地域社会に貢献したい」という気持ちを持った方により組織された奉仕団。地域行事で赤十字活動のPRをしていただいています



新型コロナウイルスの3つの顔(病気、不安、差別)を知ろう!～負のスパイラルを断ち切るために～。新型コロナ感染によって起こる偏見や差別を啓発するために作成した冊子を配布していただいた赤十字奉仕団の皆さん

赤十字を支えるのは、あなたの思い。

日本赤十字社京都府支部は、明治22年2月20日の創立以来、「人道・博愛」の精神を旨として、災害救護活動や医療・血液・福祉など、幅広い分野において活動を展開しています。これらの活動は、皆様からの継続的なご寄付により支えられています。

赤十字では、皆様からお寄せいただいた資金を活用し、「いのちと健康を守る」ための様々な活動を展開しています。引き続き、皆様からの温かいご支援を賜りますようお願いいたします。



●地域でのご寄付

赤十字奉仕団や町内会・自治会などを通じてご寄付いただいています。

また、年間を通じて府内各市区町村の日赤窓口でもご寄付いただけます。

●口座振替によるご寄付

ご登録いただいた金融機関の口座から希望月に自動引き落としでのご寄付いただく方法です。

日本赤十字社ホームページの「寄付する」からお申し込みください。

日本赤十字社は、

赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟、各国赤十字社が実施するウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動を支援するため、海外救援金を募集

受付金額(2022年5月29日現在)

45億5,482万4,180円

赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟等への送金のほか、物資支援(医療資機材等)、車両支援(救急車等)、人的貢献(専門技術を持つ職員等派遣)、こころのケア、避難民・市民の生活支援および住居支援、医療施設等の補修・再建、等(※状況により支援内容は変更されます)

皆さまの温かいご支援 ありがとうございます

●遺贈・相続財産等のご寄付

京都府支部では、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っています。詳細については6ページ下欄のコラムをご覧ください。なお、ご不明な点については、当支部(075-541-9326)までお問い合わせください。

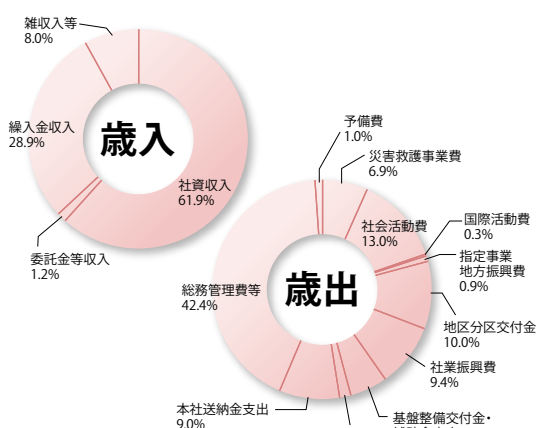
●寄付金付自動販売機の設置によるご寄付

自動販売機の売上げの一部をご寄付いただく方法です。設置に要する費用は全て販売会社が負担します。新規設置だけでなく、更新設置も可能です。詳細は当支部(上記と同じ)までお問い合わせください。

●クレジットカードによるご寄付

ご登録いただいたクレジットカードから、寄付回数を選択してご寄付いただく方法です。日本赤十字社ホームページの「寄付する」からお申し込みください。

令和4年度京都府支部 一般会計歳入歳出予算



歳入	予算額(千円)	内訳
社資収入	299,000	皆様(個人・法人)からの会費、寄付金など
委託金等収入	5,648	献血推進事業に係る京都府からの委託金
繰入金収入	139,791	施設整備準備資金繰入金収入など
雑収入等	38,520	講習会負担金収入など
歳入合計	482,959	

歳出	予算額(千円)	内訳
災害救護事業費	33,103	災害救護に係る経費、救護資機材等の整備費、救護看護士の養成経費など
社会活動費	62,839	救急法、水上安全法、幼児安全法等の講習開催経費、赤十字奉仕団や青少年赤十字の育成費など
国際活動費	1,314	国際開発協力事業に係る経費など
指定事業 地方振興費	4,500	災害救援設備の整備に係る経費
地区区分交付金	48,400	地区区分の事務費及び事業費
社業振興費	45,231	会費の募集、広報活動に係る経費など
基盤整備交付金・補助金支出	26,950	医療施設基盤整備交付金など
積立金支出	7,415	資金積立金など
本社送納金支出	43,425	本社の国内・国外活動に係る経費
総務管理費等	204,782	光熱費、事務費など
予備費	5,000	
歳出合計	482,959	

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならないことがあります。

日本赤十字社の活動資金にご協力いただいた場合、
次の「税制上の優遇措置」や「表彰制度」の対象となります。



税制上の優遇措置（寄付金控除等）

赤十字の活動資金にご協力いただいた場合は、制度上の優遇措置が受けられます。

個人：確定申告をすることにより、所得税や住民税の控除が受けられます。
（その年の寄付金の合計額が 2,000 円以上必要です。）

法人：寄付金の額を損金に算入することができます。

表彰制度

【日本赤十字社の表彰】

区 分	基 準
銀色有功章	一時又は累計で、20万円以上50万円未満のご協力をいただいた個人・法人
金色有功章	一時又は累計で、50万円以上のご協力をいただいた個人・法人
日本赤十字社 社長感謝状	金色有功章受章後、一時又は累計で、50万円以上のご協力をいただいた個人・法人



銀色有功章



金色有功章（個人）



社長感謝状



金色有功章（法人・団体）

【国の表彰】

区 分	基 準
厚生労働大臣 感謝状	一時又は同一年度内に累計で、100万円以上500万円未満のご協力をいただいた個人、又は300万円以上1,000万円未満のご協力をいただいた法人等
紺綬褒章	一時又は累計で、500万円以上のご協力をいただいた個人、1,000万円以上のご協力をいただいた法人等



厚生労働大臣感謝状



紺綬褒章

遺贈・相続財産等のご寄付

近年、「自分が亡くなった後、これまでに築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」、また、大切な方を亡くされたご遺族から「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」といった尊いお申し出が増えていきます。お申し出をされる方々の事情は様々ですが、ご自身や故人の意思を社会のために役立てることを目的に、安心できる方法で信用できる団体に寄付したいという思いは共通しています。

日本赤十字社では、「遺言によるご寄付（遺贈）」「相続財産のご寄付」「ご香典のご寄付」などの相談窓口を設置し、このような尊いご意思にお応えしています。

詳細を記した右記のパンフレットを用意していますので、お問い合わせください。

日本赤十字社へのご寄付には相続税がかかりません。

